

恵飛須議員（自民議連）

令和8年6月25日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）フレックス・キャンパスの在り方について

河内地区に設置するフレックス・キャンパスについて、本校との一体的な教育活動を進めながら、河内キャンパスとしての独自性をどのように確保するのか、教育長に伺う。

また、昼間フレックス制課程の特性を生かし、生徒一人一人の多用な学習ニーズに応える新たな学びを実現するとともに、人口減少社会における県立高校改革のモデルとして、将来的にどのような学校像を目指すのか、併せて教育長に伺う。

さらに、その実現に向けた地域、市町、大学、企業等との連携の在り方について、併せて教育長に伺う。

（答）

この度の県立高校の再編整備において、賀茂高校と河内高校の統合による新設校につきましては、地域共生社会の実現を目指す高校のモデルとして、様々な分野に興味・関心がある生徒や、多様な文化的背景を持つ生徒などが、地域との関わりの中で、個々のライフスタイルや目標に合わせて学び、多様な進路を実現するなど、地域の持続的発展を支える人材を育成する高校にしたいと考えております。

また、新設校の本校には、「新しい普通科」を設置し、地元の大学や企業等と連携して、実社会が抱える様々な課題解決に向けて探究するカリキュラムを編成するなど、質の高い探究的な学びが実現できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

新設校の河内地区の学び舎として設置するフレックス・キャンパスにおきましては、

- ・ 生徒自らが計画した時間割や遠隔教育システムの活用により、自由度の高い学びを可能とし、
- ・ 本校の生徒と協働的に学んだり、合同で活動したりできるなど、

これまでの県立高校では例のない多様な学びを実現したいと考えております。

こうした新たな取組の実現に向けましては、現在、河内高校で取り組まれている地域行事への参加など、地域と連動した教育活動を引き継ぐことはも

とより、新設校の「新しい普通科」におきまして、地元の自治体、大学や企業等の協力を得て、地域の課題解決に向けて探究するカリキュラムを開発し、河内地域において実践的・体験的な活動を展開するなど、フレックス・キャンパスならではの魅力的な教育環境となるよう、取り組んでまいります。